

コンバインV211/214/217/319のリコール届出に関するお知らせ

日頃は弊社製品をご愛用いただき誠にありがとうございます。
平成27年1月9日、下記商品につきましてリコール届出(国土交通省)をいたしました。
ご愛用のお客様には大変ご迷惑をおかけしますこと、心からお詫び申し上げます。
該当の商品をお使いのお客様には、ご購入先からご案内させていただきますので、
よろしくお願い申し上げます。

記

●不具合の状況

- ①動力伝達装置において、HST(静油圧式無段変速機)へ作動油を供給する回路内のオイルフィルターの接続方向を誤って指示したため、フィルターが逆向きに組み付けられたものがある。そのため、フィルター詰まり等で圧力が上昇した場合、エレメントの一部が剥がれオイルの流路を塞ぎ、最悪の場合、走行が不能となるおそれがある。
- ②動力伝達装置において、HST(静油圧式無段変速機)ホースの取り付け角度の設計が不適切なため、ホース又はクランプがカウンターケースと接触するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、機体振動によりホースに亀裂が発生し作動油が漏れ、最悪の場合、走行が不能となるおそれがある。
- ③動力伝達装置において、油圧ポンプ吐出側アダプタの形状が不適切なため、機体振動によってアダプタが緩むことがある。そのため、そのまま使用を続けると、アダプタから作動油が漏れ、最悪の場合、走行が不能となるおそれがある。
- ④原動機冷却装置において、ラジエーターホースの取り回しが不適切なため、ホースをとめるクランプがホースに食い込んでいるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、機体振動によりホースの亀裂が進行し、最悪の場合、冷却水が漏れるおそれがある。
- ⑤動力伝達装置において、主変速レバー取り付け部のフレーム剛性が不足しているため、フレームがたわみ主変速レバー支点部の位置が移動する場合がある。また、トランスミッションの固定方法が不適切なため、車軸からの負荷でトランスミッションケースに回転トルクがかかり、HST(静油圧式無段変速機)トラニオン位置が変化する場合がある。そのため、主変速レバーを中立位置にしても、機体が停止しないおそれがある。
- ⑥燃料装置において、燃料ホースの固定指示が不適切なため、燃料ホースがエンジン部品等に接触するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、エンジン振動により燃料ホースが損傷し、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。

●改善措置の内容

- ①全車両、新品のフィルターを正規の方向に組付ける。
- ②全車両、ホースの取り付け角度を修正する。また、ホース又はクランプに損傷がある場合は新品に交換する。
- ③全車両、油圧アダプタを対策品に交換する。
- ④全車両、ホースクランプを対策品に交換し、更にホースの配策方法を変更する。
- ⑤全車両、対策部品を追加する。
- ⑥全車両、クランプを追加して燃料ホースが接触しないように固定する。また、燃料ホースの損傷を点検し、損傷がある場合は新品と交換する。

●対象車両

リコール届出(国土交通省)

型 式	通 称 名	対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び 製作期間	対象台数
VC14D	「V211」	C14D-10011～C14D-10118 平成25年9月27日～平成26年9月11日	102台
	「V214」	C14D-30011～C14D-30103 平成25年9月27日～平成26年9月10日	88台
VC19A	「V217」	C19A-10011～C19A-10204 平成25年9月26日～平成26年10月7日	187台
	「V319」	C19A-30011～C19A-30138 平成25年9月25日～平成26年10月9日	122台
合 計			499台

ご注意

1. 対象車の製作期間は、ご購入の時期とは異なります。
2. 対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれています。

●対策開始日

平成27年1月10日

●お問い合わせ窓口

三菱農機株式会社 品質統括部 TEL 0852-52-3030

以上